

作成日：令和 4 年 5 月 10 日

令和 4 年度 第 1 回 高松圏域自立支援協議会 就労支援部会 全体会

議事録

日 付	令和 4 年 4 月 27 日 (水)
時 間	13:30～14:00
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター 第1研修室
参加機関等	ハローワーク高松、Do やまびこ、ウィズくすがみ、香川県立高等技術学校、障害者就業・生活支援センターオリーブ、障害者就業・生活支援センター共生、香川中部養護学校、竜雲あけぼの学園、ワイワイ創造館、相談支援センターりゅううん、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点、障害者地域生活支援センターほっと、香川東部養護学校、香川大学教育学部附属特別支援学校、高松養護学校、聾学校、サスケアカデミー、ウェルビー、ラ・レコルト高松瓦町店、かがわりハ 順不同 計23名

議題1：昨年度までの取組報告、今年度の予定等	
議 事	就労部会全般にわたること
報告事項・ 検討事項等	・昨年度までの各委員会の取組、イベント報告などをパワーポイント資料をもとに説明し、今年度計画について説明した。
今後の動き	○今年度はコロナ禍対策として、年3回全体会を実施し、各委員会を中心に進行していくこととした。

作成日：令和4年5月11日

令和4年度第1回 高松圏域自立支援協議会 就労支援部会（イベント委員会）議事録

日 付	令和4年4月27日（水）
時 間	14:00～15:00
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター 2F 研修室
参加機関等	ハローワーク高松、Do やまびこ、ウィズくすがみ、香川県立高等技術学校、障害者就業・生活支援センターオリーブ、障害者就業・生活支援センター共生、障害者地域生活支援センターほっと、香川中部養護学校、竜雲あけぼの学園、ワイワイ創造館（順不同） 以上 計10名

議題1：障がい者対象のイベント

議 事	<p>○今年度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しごとサロンたかまつ」のはじまった経緯、例年の様子、一昨年は予約制で行ったこと、近年は参加者が減ってきていることを報告。開催のあり方を考え直す時期であるかもしれない。 ・8月に行われる、A型の「ジョブチャレかがわ」と合わせてもよいのでは。 ・障害者対象のイベントとしては、8月の「ジョブチャレかがわ」、1月の「しごとサロンたかまつ」の2本でいくのが良いのではないか。 ・8月のイベントであるならば、その後の9月に予定している合同面接会の周知宣伝にもつながることを期待する。 ・例年開催前のチラシ配布ではハローワークに協力していただいているので、協力しあえたらいいと思う。 ・学校行事の体育祭でチラシを配ることができたらいいが、体育祭は5月14日であり、チラシの完成までには日程的に間に合いそうもないか。
決定事項	8月と1月の2本立てを計画する。まずは、8月にA型、移行支援事業所と行う「ジョブチャレかがわ」に向けて準備をすすめていく。
今後の動き	5月にチラシの原案を提示、7月にチラシ配布を目標に準備をする。

議題2：企業対象のイベント

議 事	<p>○今年度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成は例年同様、1部と2部で行ってはどうか。 ・1部は企業様からの講演を、2部はテーマを決めてするかグループワークにするか、今後決めていく。 ・講演を依頼する企業は「ヤマウチ」様を候補としている。前回お願いして、それが中止となっていたため。 ・オンラインとの併用も検討。場合によってはオンラインのみになることもある。
-----	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 月～ 3 月はリハセンターが使えないので、場所を早めに決めていく必要がある。 ・ 就業・生活支援センターでは 1 1 月に企業と支援機関との交流会を予定している。定着支援に関して連携を深めるため。
今後の動き	内容の検討を行う。

作成日：令和 4 年 5 月 10 日

令和 4 年度 第 1 回 高松圏域自立支援協議会 就労支援部会 広報・調査委員会

議事録

日 付	令和 4 年 4 月 27 日 (水)
時 間	14:00～15:00
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター 第 2 研修室
参加機関等	障害者就業・生活支援センターオリーブ、相談支援センターりゅううん、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点、障害者地域生活支援センターほっと、香川東部養護学校、香川大学教育学部附属特別支援学校、高松養護学校、聾学校、サスケアカデミー、ウェルビー、ラ・レコルト高松瓦町店、かがわりハ 順不同 計 13 名

議題 1：障がいのある学生支援の状況について	
議 事	○昨年度の取組報告と今年度計画
報告事項・ 検討事項等	<p>昨年度・・・支援については、就業・生活支援センター中心に個別支援を実施。訓練が必要な方については、就労移行支援等を利用。</p> <p>・学校の状況確認・・・コロナ禍で訪問できず、情報共有の手段として Google drive で管理するまでには、至らず。</p> <p>今年度・・・個別支援・・・報告・部会内連携支援</p> <p>・学校(高校・大学・専門学校)支援・・・啓発。担当学校の状況把握・部会内連携対応。</p> <p>情報共有の見直し(Google drive でよいかどうか)</p> <ul style="list-style-type: none">・ ジョブサポートティーチャー、スクールソーシャルワーカーとの連携強化・・・訪問面接などにより状況把握していく。(聴取内容を検討する)・ 2023 学校先生向け支援マニュアルを作成する・・・2022 から学校との関わりの中から先生方にどういったものがあればよいか検討していく。・ 訓練を必要とする場合、就労移行支援が適切かと判断したが、その再考。B 型、A 型の活用も考えていく。就労系サービスアセスメントを検討する。 <p>議 論</p> <p>・特別支援学校のネットワークはあるが、一般高校の障がいのある学生支援にネットワークがない。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・中学3年になり、現実が見えて、目的地に到達していく上で将来の選択肢がいろいろあるとわかる。 ・冊子を作成するにあたって、いろいろな事例があるとよい。 ・中学生、先生向けの案内は大切。困っている先生もいるし、うまく保護者につながらないまま、アバウトに特別支援学校につながる場合がある。 ・中学校の先生が、障害のある児童の卒後のことについて知らない、見通しがもてない現状があり、就労継続 A 型や就労移行の流れを提案できれば良い。 ・ひきこもりの方には多様な困り感があり、障害のある方もいるだろう。 ・香川大学から就労継続 A 型のガイドブック希望があり、届けた。 ・簡単に説明できる窓口が必要。 ・学校訪問する中では、学校の先生の温度差、学校から本人・家族に伝えることについて相談ができればよい。学校への説明が大切。 ・横の情報共有が必要。県内での共有が必要。 ・高松圏域自立支援協議会の就労支援部会、B 型部会、発達部会、社協なども含めて議論できればと思う。
今後の動き	○検討事項について、タイムスケジュールも考えながらすすめる。

議題 2：小豆島の就労支援について	
議 事	○昨年度の取組報告と今年度計画
報告事項・ 検討事項等	<p>昨年度・・・小豆島の就労支援について・・・オリーブ中心にすすめた。就労アセスメントでは、定時制通学、ひきこもりの方に対応した。簡単に状況報告程度。</p> <p>今年度・・・小豆島の就労支援について・・・その時の課題を解決していく。どう小豆島の支援者とともにすすめていくか。</p> <p>議 論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小豆島支援・・・新設される特別支援学校と連携しながらすすめる。 ・小豆島の場合、行けるところがない。
今後の動き	○必要な社会資源について、地元の関係者とともに検討していくことが必要。